工業つ子

No. 128
—発行日—
2016. 3. 18
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

第六十八回卒業証書授与式

響く校歌に想いをのせて

三月一日、本校体育館にて卒業式が行われました。在校生は今までお世話になってきた先輩方の背中を押すように、卒業生は旅立ちの思いを込めて全員で校歌を熱唱しました。式後、三年生と保護者の方に式を終えての心境などをインタビューし、伺ってみました。

▶卒業証書授与式

▶答辞（D3 柴原大貴さん）

▲最後の全校合唱

タフに生きる！ 式を終えた三年生の声

①今の気持ちを一言！

開放された／超ハッピー／楽しい／まだ実感が無い／やっと卒業が出来た／とても寂しい／自由だ／最高／卒業して嬉しい半面寂しい／嬉しいかつ悲しい／不安です

②今一番したいことは何？

バスケ／全裸で走り回りたい／髪型変えたい／髪を染めたい／免許を取りたい／勉強／遊びたい／映画観たい

③今一番何が食べたい？

寿司（回らない方）／うどん／おふくろの愛妻弁当／お好み焼き／親の手料理／カレー／ラーメン／焼肉

④これからの目標

大学で頑張って良い会社に入る／社長になる／海外に行く／立派な社会人になる／お金持ち／会社をやめないようタフに生きる／至極になる／後輩のお手本になれるような社会人／大学頑張る

人生を楽しんで 保護者インタビュー

①グッときたところ

退場する時／生徒が返事をして立つところ／卒業生の答辞／先生の話／スピーチ

②どんな大人になって欲しいですか。

人に恨まれない人／責任感がある人／仕事をうまくこなす人／強い人／何でも自分で責任を持てる人／人生を楽しんでほしい／優しい人／諦めない人／だらけない人

③卒業する子供に一言！

元気にしていてください／一人暮らしになってもちゃんとご飯を食べて下さい／今まで勉強してきたことを活かして頑張って欲しい／笑ってほしい／健康に気をつけて／どこに行っても頑張って欲しい／しっかり稼ぎなさい／良く頑張ったね／いつでも応援してる／困ったら相談しな／はよ結婚しいや

④今の気持ちを一言！

寂しい／一人立ちすると思うと泣ける／家から遠いのに無事に卒業できて嬉しい

▲笑顔でお別れ

長工を巣立ち、就職、進学とそれぞれの道に進まれる卒業生の方々。もし、その道でつまずくことがあっても、無理をせず、諦めず、疲れてしまったら長工の先生に活でも入れてもらいに来てください。先輩方のご活躍を祈っています。

今までありがとうございました。

今日の一枚 ～隠れ蓑～

▼住めば都！？

三年生が卒業し、とうとう我々二年生が最高学年となってしまいました。全く実感というものは湧いてきません。

さて、今日の一枚はとある新聞部員の青春の一ページです。卒業生に贈った「工業っ子」の総集編を入れていた箱、よほど追い込まれていたのかそれに入って現実から逃げるかのように安らかに眠る……。ですが「頭隠して尻隠さず」すぐに見つかっていました。さらば桃源郷、永遠に。

（溝上）

本とふれあう

卒業生が長工を旅立ち校舎がすっかり寂しくなってしまいました。逆に一、二年生が圧から解放されたかのようにざわついているのは気のせいでしょうか。何となく落ち着かない季節です。

さて、皆さんはふだん、どれくらい活字に触れていますか。私はほぼ毎日のように小説を読みます。本は私にとって動力源も同じなのです。様々な物語は私にたくさんの冒険をさせてくれます。文字一文字一文字に織り込まれる意味を読み取っていくのが楽しいのです。

今日の日本では「活字離れ」が進んでいるといわれています。ネットの普及と共に本も電子書籍としてデータ化されてきています。手軽に手に入るようになり、本屋へと赴く人も少なくなってきているようにも思えます。確かにデータ化されることで荷物も減り、端末一つで事足りるようになります。それでいいのでしょうか。自分の足で本を探し、自分に合う本と出会う。その面倒くさい、一見遠回りの過程を経ることが実は自分の見る景色を増やす、広げることに繋がる気がします。本を開き、ページをめくることで広がる物語を肌で感じることで更に本に対する思いは増していきます。それはとても魅力的なことです。

本は心に安らぎを与えます。紙質や表紙、紙媒体の活字、古本の薫り、本の厚みから見える達成感。そこには実際に本に触れることでしかわからないものがあります。

もう少しで三学期が終わり新たな学年が始まります。その間には春休みがあります。新たなスタートを切る前にリフレッシュを兼ねて活字に触れてみてはどうでしょうか。本はいつか必ず、自分にとっての転機をもたらすものとなりえるはずです。

（溝上）

インテリア科展 子供にも大人気！

二月六日～十四日　長崎県立美術館の運河ギャラリーで行われた第二十一回インテリア科展。インテリア科の全学年が授業で取り組んだ平面図などから三年生が課題研究で製作した本格的な家具等の立体的なものまで数々の作品を展示。一般の方に科のことを知っていただけるよう企画されています。中には見事特許を獲得した足腰が悪い人たちのために作られた作品も。会場でインテリア科展を運営していた生徒や先生、また、見学の方にインタビューしました。

生徒からは「展示場にあった遊び道具で子供たちが遊んでくれたのが嬉しかった」「二年生にはこれ以上にいいものを作って欲しい。三年間の集大成、大変だと思うけど頑張って欲しい」「軍艦島の模型は見取り図が無く工夫をしながら配置をしていくのがとても難しかった」とさまざまな思いが答えとして返ってきました。

「子供さん連れの方が多くいらして、遊具など欲しいと言って貰えて嬉しい」と笑顔で答えてくださったのはI科の宮崎先生。見学者の中にはI科のOBの方も。「インテリア科展は企業の人達も知っていて、社長に勧められて来ました」との事。その他、会場にいらっしゃった方々からは「去年も来た。雰囲気が良いと思う。いろいろな人が見に来ていて広い世代が楽しめ、子供が遊ぶところもあり、いい取り組みだと思う」「すごく面白い」「作品のほとんどが木で、生徒さん達の雰囲気も木のように柔らかく、会場全体がとても居心地がよい」の感想。

初めて取材でインテリア科展に行った新聞部の究一年生。三年生の課題研の一つ一つに個人の思いや三年間で身に付けた技術が集結してい て綺麗な結晶のようだと肌で感じました。

作品の中にはお客さんが思わず「これすごい」「欲しい」と言ってしまうものもありました。展示会でわいわいとバスの乗り物や魚釣りの玩具などで元気いっぱい遊んでいました。とても微笑ましい光景でした。来年は皆さんもぜひどうぞ。

▼軍艦島の模型

▶子供たちの遊び場となった「すまいるバス」

青春日記

青春日記ご愛読者のみなさまこんにちは。三月に入り花粉が飛散し始めて鼻と目が大変なことになっている方はいらっしゃいますか？ちなみに私はもっぱら花粉症に悩まされています。こうしてお執筆している時もくしゃみが…ハックション！

さて、今回、レギュラーの松尾に代わって草場がピンチヒッターで書いてみたかったんだけど（実は一回書いただけなんだね。）松尾君は書きすぎて頭が回らないんだとか何だとか。まさゆき、甘いもので糖分補給したらきっと眠気も、頭の回転も良くなるぞ。そして俺が甘美な時間を過ごしている間に次の号の青春日記の執筆頑張ってね。甘いものと言えば、先日の卒業式で紅白饅頭が配られました。これは甘こし饅頭の中ではつぶ餡。私はこけし派でもあり、基本甘けれども甘すぎるのはご遠慮願いたい。前青春日記担当者（山田先輩）も甘いものが好きで、その先輩に負けず劣らずの甘いもの好き。最近は焼き菓子にハマっていますが、しっとりとした音がするものまで。ちなみに、長工近くのケーキ屋は甘さ若干控えめで美味しいです。

日常のことをネタにしようとしてもなかなか思いが出せませんでした。自分でも無頓着な性格なせいだと思っていますが、もしかして実は忘れっぽいことから逃げているの？…いや、そんなはずはない。

こだわりがないだけで一号分休みを頂いたんなので青春日記担当者の次回に皆さん期待しておいてください。

（草場）

地元に貢献！建築科三年生大活躍!!

建築科三年生が課題研究として制作した出島の模型と竹灯篭が市役所と協力の元展示されました。卒業前のA3の活躍をお伝えします。

想いを引き継ぐ 出島模型制作

二月十六日、建築科三年生が課題研究で修復したミニ出島の模型を設置。リーダーのA3松田亘輝君にインタビューすると「屋根は既存のものを磨き、土台や柱は一から作った。水門の正面から中が見えるようにするのが大変だった。今年は例年に比べ格段によくできたと思う。大変な作業だけど後輩もめげずに頑張ってほしい」と答えてくれました。また、作業を終えたメンバーに感想を一言ずつ聞くと「出島を作るという伝統を引き継げてよかった」（橋本）「県に貢献することができてよかった」（下田）「多くのことを学べた。就職してから活かしたい」（永田）「協力の大切さを学んだ」（中島）「いろいろな人が見るから、手を抜かずに頑張った」（田中）「班のみんなと協力して取り組んだ」（岡部）「将来のためになることを学べた」（前田）との答えが返ってきました。皆さんも、改めて出島を訪れてみてはいかがでしょうか。

▶設置作業中…

▲A科のポーズ！

夜を彩るまちあかり 竹灯篭制作

前回、初の速報新聞で紹介したまちあかりイベント。設置の際にA3の日田雄士郎君が「苦労したことは細かいところの穴あけや裏側に紙を一枚一枚貼るところ。遠くから見ても綺麗だけど、近くから見て細かい切り込みや穴あけを見てほしい」と話していた竹の作品。実際の点灯の様子を取材に二月三日のイベント最終日に新聞部で寺町通りへ。夕方、会場には既に多くの方々がいて、市役所の方と一緒に作品の点灯作業を行いました。

徐々に辺りが暗くなり、作品が輝き始めると写真を撮る人が続出。来ていたお客さんは作品のクオリティーにとても感動され「今年も素晴しかった。おかげでお客さんも増え、この取り組みが広まってきている」と満足された様子でした。

▶作品の前で記念撮影

▲色彩豊かな光を灯して

寺町通りでは豆まきなどの節分行事も行われ、たくさんの人で賑わい、イベントは大成功で幕を閉じました。

科学部 九州大会優秀賞 ―後輩に託す全国大会

今年度は七枚もの表彰状を獲得する活躍の科学部。二月七日に熊本での九州大会にM3谷口由樹君が出場しました。

大会の様子を顧問の門崎先生に伺うと「多くの人が興味を持って谷口君によく質問していた。九州地区の代表が集まっていて、とてもレベルが高かった。その中でも大きな声ではっきりわかりやすく発表した点が評価され入賞できた」とのこと。また、顧問の杉本先生と谷口君に科学部の今後についてインタビューすると「まずは谷口の成果を引き継ぎ、全国大会の発表を頑張って欲しい。そして来年からもこの活躍を引き継ぎ、がんばって欲しい」（杉本先生）「全国大会に自分は卒業して出場できないので、後輩にしっかり頑張ってほしい」（谷口君）との答えが返ってきました。

科学部の今後の活躍に期待しています。

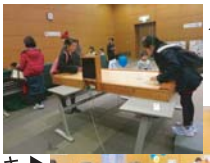
▶質問を受ける谷口君

きっかけは工業展 「わくわくサイエンス祭り」に電子工学科が参加！

二月二十日に長崎市科学館で子供を対象とした工作や実験などの体験形イベントが行われ、D科の三年生も参加しました。課題研究で制作したエアーホッケーやUFOキャッチャー、ストラックアウトなどが展示され、子供たちに優しく使い方を教えてあげるD3の生徒たち。代表の生徒に話を聞くと、改善点は「UFOキャッチャーの音が出るようにした」とのこと。イベントに参加して「小さい子にものづくりの楽しみを知ってもらえたようでなによりと」と話してくれました。

また、科学館の高木さんにも話を伺うと「工業展を見に行くと子供たちが楽しそうで、多くの人に知ってもらいたいと思い依頼した。作品が手作りという点が良く、子供たちも体験しているうちに仕組みを考えたりすると思うのでとても良い物だと思った」と満足されていました。

たくさんの子供たちが終始長工の作品で楽しそうに遊んでくれました。



◀エアーホッケー

▶UFOキャッチャー

▲科学館の高木さん

シリーズ ロボコン道 勉強は筋トレの後で

体を鍛えた後はもちろん脳も鍛えています。脳筋ではありません。私は構造設計の勉強をしています。設計といえばCADで図面描いて終わりと思いきや、なんと計算がそこにはあったのです。情報技術科の私にとって構造は未知の世界で、基礎の基礎から学ばなければなりません。

M科の人に教えてもらいながら勉強をしよう。と思ったら、それより先に説明に出てくる専門用語が分からない。力のモーメント？応力？日本語で教えてくれよ。

（草場）

▲只今勉強中…。

スポーツトピックス キャプテンインタビュー

様々なイベントと重なり、掲載が遅れてしまいましたことを、ここに深くお詫び申し上げます。

各部活動のキャプテンたちに感想をいただきました。

新人戦優勝！ ―フェンシング部

十一月十五日、諫早商業高校で行われたフェンシング競技の新人戦。見事に優勝を収めました。

主将の富川君（D2）は「団体戦応援を含め、皆で勝ちとった優勝。今後の勝ちに繋げたい」と力強く語ってくれました。

ベスト4 九州大会出場！ ―バスケットボール部

一月十六日～十八日、諫早・大村市内の体育館で行われたバスケットボール新人戦。主将の立木君（P2）は「厳しい戦いをチーム一丸となって勝ち抜き、九州大会への切符を手に入れました。これからも一戦一戦を大事にしたい」と語っています。

ベスト8 高総体シード獲得 ―サッカー部

一月十六日から三十一日かけて、サッカーの新人戦が行われ、みごとにベスト8入りを果たしました。主将の川瀬君（E2）は「高総体のシードを獲得できて良かった。これからは高総体に向けて、練習の質を高めていきたい」と今後に向けての思いを語っていました。

卒業式!!! こぶた生!!! part2 ～ある部活でのお別れ会～

※いったい何に使うのでしょうかw

一年生な☆日々

初めまして。新たに入部した山下です。入部して一週間程度なのですが、もう文章を書くことになりました。文章を書きなれていない自分にとっては、とても難しいです。それに、卓球部と兼部していているので新聞部で活動する時間はそんなに多くはありません。そこで新聞部の一年生達に助けを求めると「一年生な日々なんて自分が書きたいことを書けばすぐにできるよ」と言われてしまいました。そんなことを言われても…と思いながら、最初でも最後になるであろう一年生な日々をなんとか書いています。

さて、高校入試の季節です。ちょうど去年の今頃はラストスパートで必死に勉強していたのを覚えています。きっと今年の受験生も去年の自分以上に頑張っていると思います。そして今年も高いい倍率の壁を越えて入学してきます。去年自分は受かったことに安心し勉強が疎かになってしまったので、今年入学してくる一年生には頑張って欲しいものです。

自分達もまもなく二年生。一年生が入学する前から二年生らしい行動を心がけ一年生から尊敬されるように頑張っていきたいと思います。（山下）

編集後記

三年生が卒業し、今年度も残りわずか。新聞部は相変わらず記事に追われる日々を送っています……。毎日毎日猫の手も借りたい日々です。何が何でも新入部員を獲得するべく新聞部一同今日も紙面とにらめっこ。はやくきてくれ新入部員。